
「核兵器のない世界へ」 NPT再検討会議にむけて ニュース

〒852-8107 長崎市浜口町6-5 木下ビル Eメール:nagasaki65@forest.ocn.ne.jp
電話・095・844・0705 FAX・095・844・0728 発行者 片山明吉

西彼原水協は2月13日 自治体(西海市、時津町、長与町)を訪問し、首長、副首長、議長、教育長の4者の署名(新国際署名)をもらいました。これは、2月3日樋口事務局長が各自治体に依頼文書と署名用紙を事前に郵送し、受け取りのために自治体訪問(河野長与町議、浜辺時津町議、樋口事務局長)を行い受領したものです。西彼原水協は定期的に会議をひらき、一つ一つの行動を企画しながら実践しています。

原水爆禁止長崎県協議会は昨年2ヵ年計画を策定、そのなかで「地域原水協が地元自治体に責任を負う活動を通じて、原水協の確立強化と日常活動をめざす」とした方針の具体化として、一人ひとりが多忙な日常活動のなかでの奮闘は貴重なものです。

年金者組合県本部署名目標決定

年金者組合長崎県本部は2月13日県本部執行委員会で、新国際署名「核兵器のない世界を」の目標を決めました。構成員ひとり5筆を基本に3400筆を達成するというものです。署名推進の責任者には、川口龍也氏(県原水協常任理事)が就任しました。年金者組合は、これまでの署名でも、積極的役割を果たしてきましたし、年金署名、消費税反対署名など日常的にとりこんでいます。高齢で、何らかの病気をもちながら、気力で立ち向かう姿には感謝・敬服します。

世界大会実行委員会総会開催

2月12日(木) 原水爆禁止世界大会実行委員会第63回総会がひらかれました。来賓として、藤平典さん(被団協代表委員)、鳥澤文彦さん(日本青年団協議会)、木津博充さん(日本山妙法寺)が挨拶しました。

高草木博(運営委員代表・白本原水協事務局長)が、原水爆禁止2009年世界大会の意義と役割についての報告の後、討議が行われた。高草木氏は、直前にひらかれた日本原水協全国理事会の討議を紹介(全国で新たな署名のとりくみ、国際情勢を現実のものに変えていく決意がみなぎった討論が行われた)し、8ヶ月後に控えた世界大会をとって大きく成功させることを呼びかけました。

世界大会は、8月3日(月)〜5日(水)国際会議(広島)。8月5日(水)〜6日(木)世界大会(広島)8月7日(金)〜9日(日)の日程で開催されると。長崎大会では、開会総会、分科会と動く分科会、原爆遺構碑めぐり、佐世保基地行動などと関連行事として、世界青年のついでに「ナガサキ、核兵器なくそう」女性のついでに「少年少女平和のついでに」長崎などが予定されています。



「ピキニデーから広島・長崎、ニューヨークへ」3・1ピキニデー集会在今月28日から静岡市でひらかれます。現在、参加申し込みは、民医連など3名です。九州・沖縄ブロック原水協学校はじめとして、2009年の活動の弾みにしたいと考えていましたが、残念な結果となりました。